



〈第4回トキ放鳥に向けた訓練開始〉

12月8日から、第4回放鳥に向けての順化訓練が、野生復帰ステーション順化ケージにおいて開始されました。

3か月程度の訓練期間を経て、平成23年3月上旬に19羽（オス10羽、メス9羽）を放鳥する予定です。

〈第3回トキ放鳥記念イベントを開催しました〉

11月16日、第3回トキ放鳥を記念して、佐渡トキ環境親善大使に就任されている歌手の加藤登紀子さんをお招きして、「加藤登紀子さんと佐渡Kids生きもの調査隊がトキについて考える」を開催しました。

佐渡Kids生きもの調査隊は、豊かな環境と生きものと田んぼの関わりについて学ぶため、島内小学校4〜6年生で、田んぼの生きもの調査や無農薬の米作り体験などを行っています。

第一部では、佐渡Kids生きもの調査隊の活動報告と、加藤さんや環境省の長田首席保護官と一緒にトキや環境について考えるシンポジウムが行われました。

加藤さん自らマイクを持ち子どもたち一人ひとりに話しかけ、実際にトキを見た感想などをおりまげながら軽快なトークと鋭い質問で会場を盛り上げていました。

第一部の最後には佐渡Kids生きもの調査隊より、自分たちが無農薬で



佐渡Kids生きもの調査隊が栽培した無農薬のお米を加藤さんにプレゼント

栽培したお米を加藤さんにプレゼントしました。
第二部では加藤さんのトーク＆ライブが行われ、「百万本のバラ」「知床旅情」など多数の名曲を披露していただきました。ステージから降り、客席でお客様と一緒に歌うなど、会場に集まった約600人のお客様も加藤さんの美声に魅了されていました。



世界遺産登録に向けて

西三川砂金山遺跡関係の詳細測量調査

佐渡市では、平成22年10月20日から、真野地区にある西三川砂金山の採掘地のひとつである、五社屋山周辺の調査を実施しています。

この五社屋山は、かつて西三川砂金山の中心地として栄えた笹川集落の北東約1kmに位置し、平成14〜16年度の旧真野町教育委員会による調査で、コの字型に人頭大のガラ石（採掘で出た余分な石）を積み上げた19基の石組遺構が発見されています。また、平成20年度の佐渡市教育委員会による調査で、砂金流しのために引いた水路や、その水を溜めた堤跡などの遺構が良好に残っていることが確認されました。砂金採取の



水路両側の石列



石組遺構

一連の作業工程を解明する上で非常に重要な地区であることから、今回、地表面にみえる関連遺構の分布状況を記録する測量調査を実施することとなりました。

これまでの調査で、五社屋山一帯には砂金流しに用いた水路が縦横無尽に築かれていることが判明し、ガラ石を積んだ石垣や、水路の流れを変えるための石列などの痕跡を随所に確認することができました。

今後は、専門家の指導を受けながら調査結果をまとめ、西三川砂金山遺跡の国史跡指定に向けた準備を進めていきたいと考えています。

◆市役所世界遺産推進課
(金井コミュニティセンター内)
☎63-5136